



どうだったの？

平成30年度

旭川市の決算状況

決算は、4月から翌年3月までの1年間にどのような収入があり、何にどれだけお金を使ったのかという結果です。決算の詳細内容は、市政情報コーナー（総合庁舎1階）や市庁で見ることができます。【詳細】財政課直25・5672

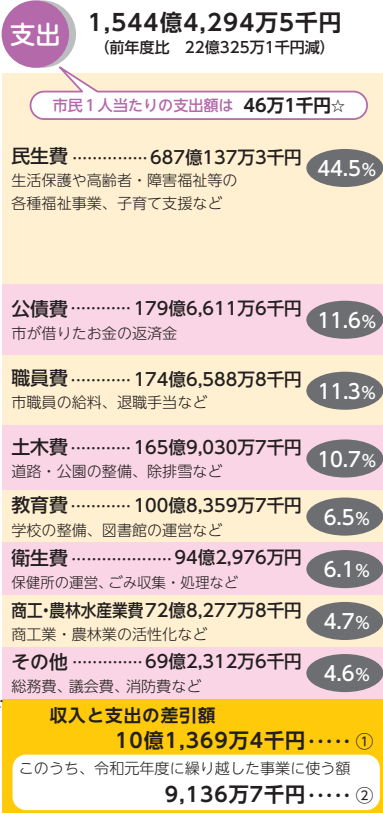


一般会計

道路や公園の整備、福祉事業、市民活動の支援、ごみ処理など市の仕事を行うための基本的な経費についての会計です。

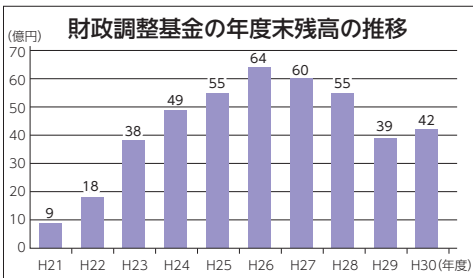


☆今年4月1日現在の人口335,323人で計算。



市の貯金の状況は？

財政調整基金は、予期せぬ減収や災害などの不時の支出に備えるための市の貯金です。平成30年度は取り崩した額以上に積み立てたため、年度末残高は前年度より増加して42億円になりました。※条例に基づき、③の半分（5億円）を積み立てたため、令和元年6月時点の残高は47億円です。



特別会計

市民の皆さんが納めた保険料等によって事業を運営するなど、特定の収入を特定の支出に充てるため、一般会計とは別に設けている会計です。

会計名	収入	支出	収入支出差引額
国民健康保険事業	366億6,910万8千円	364億8,936万3千円	1億7,974万5千円
動物園事業	14億6,043万9千円	14億6,043万9千円	0円
公共駐車場事業	8,919万9千円	8,230万3千円	689万6千円
育英事業	1億3,306万2千円	1億548万4千円	2,757万8千円
駅周辺開発事業	2億4,696万4千円	1億7,326万4千円	7,370万円
簡易水道事業	1億1,480万円	1億337万4千円	1,142万6千円
農業集落排水事業	3,905万8千円	3,566万5千円	339万3千円
介護保険事業	351億2,408万9千円	343億9,615万1千円	7億2,793万8千円
母子福祉資金等貸付事業	1億9,264万5千円	8,078万5千円	1億1,186万円
後期高齢者医療事業	49億7,265万5千円	49億6,460万8千円	804万7千円
合計	790億4,201万9千円	778億9,143万6千円	11億5,058万3千円

※簡易水道事業および農業集落排水事業に地方公営企業法を適用したことにより、それぞれの特別会計は平成30年度をもって廃止し、収入支出差引額は水道事業および下水道事業に引き継いでいます。

公営企業会計

地方公営企業法の適用を受け、民間企業のように利用者からの利用料などによって事業を行う会計です。

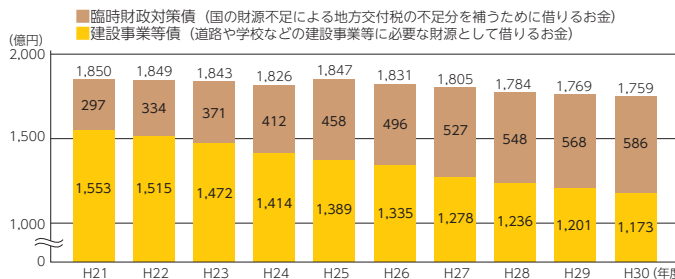
会計名	区分	収入	支出	収入支出差引額
水道事業	収益的	60億3,061万円	55億5,596万2千円	4億7,464万8千円
	資本的	16億3万6千円	50億3,561万3千円	△34億3,557万7千円
下水道事業	収益的	92億8,319万6千円	85億343万2千円	7億7,976万4千円
	資本的	22億4,889万7千円	57億1,843万2千円	△34億6,953万5千円
病院事業	収益的	119億9,637万3千円	113億5,510万1千円	6億4,127万2千円
	資本的	105億6,157万4千円	111億5,330万2千円	△5億9,172万8千円

※収益的収入・支出＝水道料金、下水道使用料、病院診療報酬などの収入と、人件費や維持管理費、減価償却費、借入金の利子など事業の運営に必要な支出です。
※資本的収入・支出＝施設や設備の建設改良などの支出と、その財源となる企業債などの収入です。
※△は不足額。資本的収支の不足額は内部留保資金等で補填しており、病院事業会計はこれに加えて一時借入金で措置しています。

市の借金の状況は？

市債とは、市が公共事業などを実施するための借金のことです。市債には、資金を調達する他に、世代間の負担を公平にする役割もあります。市債残高は、建設事業等債の借入れを抑えてきたことで、全体では減少傾向です。

市債の年度末残高の推移（一般会計）



※臨時財政対策債の返済費用は後年度の地方交付税の必要額に算入され、地方公共団体の財政運営に支障が生じないように措置されることになっています。